

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
数学	数学 I ②	必履修	なし	2単位	① 2 ③
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	8 時間	3 時間	2 時間	2 回	6 枚

科目紹介と履修上のアドバイス

数学 I は必履修科目といって、高校を卒業するためには、必ず履修しなければならない科目です。

数学 I ②は、数学 I の学習内容の内、後半の「三角比」「データの分析」「集合と論証」を学びます。これらは、高校で新しく学ぶ内容が中心になります。特に「三角比」は覚えなければならない公式が多いですが、内容を精選し、基本的な部分だけを扱っていきます。そのため、大学や専門学校等への進学を考えている人にとっては、物足りない内容になっていますので注意が必要です。

数学 I ②を履修するためには、数学 I ①を履修してあることが条件になります。

教科書	数学 I (東京書籍)	学習書	数学 I (NHK 出版)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・三角比, データの分析, 集合と論証についての基本的な概念や原理 ・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素間の関係に着目し, 図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・命題の条件や結論に着目し, 数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとしている。

面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	鋭角の三角比	104-110	1				
第2回	三角比の利用 三角比の相互関係	110-115	2				
第3回	三角形の面積 正弦定理	116-119	3				
第4回	余弦定理 鈍角の三角比	120-124	3, 4				
第5回	$180^\circ - \theta$ の三角比 総合問題	125-127	4				
テスト	レポートNo.1~No.4						
第6回	データの分析①	130-141	5				
第7回	データの分析②	142-147	5				
第8回	集合と論証	150-165	6				
テスト	レポートNo.5~No.6						